

2024年春、環境省発表資料によりますと、一廃排出量は4,095万トンで前年比1.7%減、産廃排出量は前年比0.9%減の3億7,056万トンでいずれも年々減少しています。人口減少や3R（リデュースなど）が進む中、減少は加速すると思われます。排出量の総量減少は価格競争に繋がり、本業の事業展開では、同業他社との競争は避けられないように思われます。また、廃棄物やリサイクル会社様が業績を伸ばすには、以下の方程式のように、基本的には回収料（量）が取引社数の増加、若しくは産廃や周辺事業などの参入、そして、当然の話ですが、参入すれば同業やニア同業との競争は必至です。しかし、今回ご紹介いたしますビジネスモデルは、同業と一切競争しない他に類をみない環境貢献と経済貢献によるビジネスモデル（排出元や行政などにFUKURO（レジ袋→ゴミ袋）を無償提供）する総代理店展開によって業績アップに繋げるモデルです。排出元や行政などに喜ばれながら業績を伸ばしたい会社様、同業と競争したくない会社様はご参加ください。特別ゲスト講師として、大手コンサルティング会社の業界専門コンサルタントによる解説付きで、大阪市千林商店街や千葉県、長崎県などの導入事例（FUKURO無償事例）もご紹介いたします。

廃棄物・リサイクル業界では、殆どの会社様が以下(左)の方程式で事業展開

- 1. 塵芥回収料×取引社数
- 2. 産廃回収料×取引社数
- 3. 再生資源物回収量×単価(円/kg)
- 4. 粗大及び遺品整理など
その他サービス×依頼回数



1～4. の営業強化による同業との競争ではなく、**以下の5. のビジネスモデル**
 ※未だ99%会社様が実施されていませんので、一切競争いたしません。また、多大な投資も不要、ノーリスク型ビジネスモデルとも言えます
5. 他に類をみない環境&経済貢献
 ×貢献度（普及枚数＝2円/枚）

※普及枚数に応じて、×2円/枚が収益になります。
 ※某廃棄物会社では、880万枚×2円＝1,760万円/年収益

業界初の総代理店制度による営業展開

業界初脱競争
 共創モデル

《ゲスト講師》

(株)船井総合研究所：環境/廃棄物ビジネスコンサルタント東新一氏、他環境ビジネス関連業界全般、とくに廃棄物業界（家庭ごみ収集業、事業系一般廃棄物収集運搬業、し尿汲み取り業、浄化槽清掃・保守点検業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、古紙回収業、鉄・非鉄回収業）の方向けに、グレートカンパニーづくりの応援を実施。各協会・組合等にて講演実績などあり。右QRコードは同氏のコラムをご紹介



| | |
|-----|---|
| 日時 | 2024年 10月11日(金) 18:30～19:30 |
| 参加費 | 特別価格 5,500円/名 (税込) オリジナルテキスト含む |
| 対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物収集運搬会社 (塵芥、し尿汲取り浄化槽) ・産業廃棄物収集運搬会社 ・産業廃棄物処理会社・再生資源会社(古紙・鉄など) |
| 主催 | 合資会社データポット 松本洋一 〒641-0011 和歌山県和歌山市三葛703-1 フレグランスさつき103 TEL (073)-499-6979 |

会場：大阪市生涯学習センター（梅田：大阪駅前第2ビル） 最寄駅：JR北新地駅

業界初セミナーの詳細確認や申込等は、以下HPご確認の上、QRコードよりお願いします

環境ビジネス地域一番経営実践塾
 ECO1000.net



10/11（金）の参加申込
 フォームはコチラ →

10月7日（月）までの参加申込分まで有効、参加費のお振込みは、参加申込確認後、後日（数日後）主催会社よりご案内いたします（～10/9付までにお振込）

